

「北海道史編さん委員会 道史編さん計画」の概要

《事務局たたき台》

1 目的

- 「道史編さん計画」は、「道史編さん大綱」（平成29年度策定）に基づき、刊行内容や進め方、留意点等について具体的に明らかにするために策定する。
- 「道史編さん計画」は、北海道史編さん委員会において、進捗状況の確認や重要事項の審議の際の指針とするとともに、必要に応じ見直しを行う。

2 刊行の内容

(1) 誌名

現代史	「北海道現代史」「新修北海道史」 … 【過去例】「北海道史」、「新撰北海道史」、「新北海道史」
概 説	「概説 北海道の歴史」「北海道のあゆみ」「新修北海道史 概説編」 「図説 北海道の歴史」「目で見える北海道の歴史」 …
年 表	「北海道史年表」「新修北海道史年表」「新北海道史年表 増補版」 【過去例】「新北海道史年表」

(2) 巻数・形態・刊行部数

刊行区分		巻数	形 態	刊行部数
現 代 史	資 料 編	政治・行政編 1巻	A5/ 1,000頁 上製本	有償 300冊 無償 1,500冊
		産業・経済編 1巻	A5/ 1,000頁 上製本	有償 300冊 無償 1,500冊
		社会・教育・文化編 1巻	A5/ 1,000頁 上製本	有償 300冊 無償 1,500冊
	通 史 編	[1～2]巻	A5/ 1,000頁 上製本	有償 500冊 無償 1,500冊
概 説		1巻	A5/ 600頁 並製本	有償 3,000冊 無償 1,500冊
年 表		1巻	A5/1,000頁 (有償)並製本(無償)上製本	有償 3,000冊 無償 1,500冊

(3) 各巻刊行年

現代史 資料編 産業・経済編	……………	2022年度
社会・教育・文化編	……………	2023年度
政治・行政編	……………	2024年度
通史編	……………	2025/2026年度
概 説	……………	2027年度
年 表	……………	2027年度

※参考 [資料6-2](#) 編さんスケジュール案

3 各部会作業分担

企画編集部会	全体の企画・編集・調整 「年表」の企画
概説部会	「概説」
政治・行政部会	「資料編（政治・行政）」 「通史編」のうち、政治・行政部分 「概説」のうち、現代史の政治・行政部分
産業・経済部会	「資料編（産業・経済）」 「通史編」のうち、産業・経済部分 「概説」のうち、現代史の産業・経済部分
社会・教育・文化部会	「資料編（社会・教育・文化）」 「通史編」のうち、社会・教育・文化部分 「概説」のうち、現代史の社会・教育・文化部分

4 編さんにあたっての留意事項

(1) 現代史

- 現代史は他の時代史に比べ、叙述や資料の収集選択には特別の難しさがあるが、公平で客観的かつ学術的に正しくあることに留意する。
- 対象時期は基本的に第二次世界大戦後から2000年頃までとするが、戦前・戦中からの連続性なしには説明が困難な事項や、2000年以降の展開にまで言及すべき事項もあることから、適宜幅をもって対応する。
- 資料編の作成にあたっては、道内外に広く資料を求め、文献資料を中心に、叙述の根拠例証となる多彩な資料の調査収集に努める。
- 資料編には、一般道民でも興味深く読めるよう、丁寧な解題や解説を付す。
- 資料編の資料が通史編の叙述の論拠となり、資料編・通史編の両方でより深い理解を促すよう、資料収集や編目構成に留意する。
- 現代史は、政治・経済・社会各分野にまたがる事象や、境界がわかりにくい事象が多くあるため、事前の棲み分けと担当者間の調整を入念に行う。
- 資料編の中のアイヌ史関係資料は、1つの巻でまとめて扱うのではなく、各巻各分野の中で過不足なく適切に配置する。

(2) 概説

- 概説の作成は、近年の研究成果の蓄積を反映させた学術水準の高いものであると同時に、一般道民にも親しみやすく理解しやすいものとなるよう、叙述内容や構成を工夫する。体裁上の工夫については、民間編集者の関与助言を検討する。

(3) 年表

- 「北海道史年表」（1970年まで掲載）の増補改訂版とし、刊行直近年まで掲載する。
- 「北海道史年表」を踏襲し、各項目には出典を明記する。

5 資料の調査収集と保存

(1) 調査収集

- 資料収集は、デジタルカメラによる複写を基本とする。
- 資料保存機関（文書館・図書館・博物館等）への調査のほか、資料を所有する団体や個人に対しても調査を行うが、特に後者にあつては、所蔵者の信頼を失わないよう、説明を尽くし丁寧に対応する。

(2) 資料の保存

- 膨大にある現代の資料の中から、重要なものを後世に確実に残すことも編さんの重要な役割であることを認識し、保存に適した収集及び整理を行う。
- 道史編さんで収集した資料は、事業終了後は道立文書館に移管し活用する。

6 道民への情報提供・道民からの情報収集

- 編さんの進捗状況や調査研究の成果は、道史編さん室のホームページで公開する。
- 道民の身近にある資料も、北海道の戦後を語る重要な資料となり得ることから、対象物を限定したうえで資料収集への協力を呼びかける。
- 道内各地域で郷土史を研究している個人やサークルを把握し、資料情報の提供など広く協力を求める。
- 現代史資料編、通史編及び概説の刊行時には、委員による講演会を実施し、道史に対する興味関心を深めてもらう。

7 その他

- デジタル技術を活用した刊行・普及について、どのようなことが可能か検討する。

「北海道史編さん委員会 道史編さん計画」は、各部会の意見も聴取しながら企画編集部会において検討を進め、第2回北海道史編さん委員会（平成31年度開催予定）での審議を経て決定する。